

令和元年度

介護・福祉関連機器開発部会 特別講演会



大分県医療ロボット・機器産業協議会では、介護・福祉関連機器開発部会を立上げ、東九州メディカルバレー構想の更なる推進のため、医療機器から介護・福祉・リハビリテーション機器分野にも領域拡大を図り、高齢者や障がい者の自立支援及び介護現場の生産性向上を目指す取組を進めています。

具体的には、介護・福祉現場等からの機器開発ニーズ、機器改良アイデアと県内製造業の技術力とをマッチングさせる機会を産学官の関係者で連携して企画・提供し、効率的な機器の研究開発を推進しています。

今回、介護・福祉関連機器開発部会の特別講演として、健康、美容、医療、介護分野において、家電メーカーでの開発設計、知的財産、商品企画、経営企画の経験を持ち、現在、医療・福祉用具の開発に取り組む企業への支援を行っている「NPO福祉用具ネット 坂田 英二 様」にご講演をいただきます。

介護・福祉関連機器の開発に関心のある医療機関・福祉施設、大学等の学術研究機関、行政機関の皆様等、ぜひこの機会を産学官の交流の場としてご活用頂きたく、ご参加をお待ちしております。

日 時	： 令和2年3月13日（金） 13：30～14：40
場 所	： レンブラントホテル大分 二豊の間（大分市田室町9-20）
当日は駐車場の混雑が予想されます。可能な限り公共交通機関でお越しください	
参 加 費	： 無 料
主 催	： 大分県医療ロボット・機器産業協議会

特別講演

「福祉用具開発最前線 – 良質な情報で、喜ばれる機器開発を –」

講師 特定非営利活動法人NPO福祉用具ネット

副理事長兼ものづくり支援センター長 坂田 栄二 様

福祉用具の開発は、企画段階で完成といっても過言ではないと思います。

企画段階で、現場の真のニーズを聞き、活用できる最新の技術の活用を検討し、しっかりとした現場検証計画を立て、併せて最適な流通・販売形態を想定する必要があると感じております。

現場でのニーズ（needs）とウオンツ（wants）の見極めが十分でないまま開発をスタートさせるケースがあります。また技術的に論理破綻に出くわすこともあります。これらの経験を皆様と共有できる内容にできればと思っております。

坂田 栄二 様

特定非営利活動法人NPO福祉用具ネット 副理事長兼ものづくり支援センター長

家電メーカーに在職中、健康、美容、医療、介護分野において、「人を軸に」をテーマに、開発設計、知的財産、商品企画、経営企画を担当されてきました。

退職後は、医療・介護分野を体系的に学ぶために、関連資格(医療機器情報コミュニケーター、知的財産管理技能士、福祉用具専門相談員、福祉住環境コーディネーターなど)を取得し、これまでの開発経験をもとに、利用者様に満足いただける製品づくりを目指して企業支援を続けておられます。

また、福岡大学(非常勤講師)で、これから社会に巣立つ若い人たちに、製品開発技術を伝える活動も進めています。

【特定非営利活動法人 NPO福祉用具ネット】

福岡県立大学 福祉用具研究会を母体として2002年11月に独立する形で設立(福祉用具研究会は、介護保険制度の研究、福祉用具の評価などを行っており、現在も継続中で創立21年目)。2013年4月にもものづくり支援センターを開設。17年間継続して2つの主な事業を実施。

- ①新しい介護技術の普及活動(研修・相談・調査を通して)
- ②医療・福祉用具の開発に取り組む企業へのワンストップ型支援
(新しい看護環境や介護技術の実現にふさわしい用具の開発支援)

団体・企業名、所在地、申込担当者(電話、FAX、e-mail)、参加者氏名等を、ホームページ入力又は下記へ記入・送信いただきお申込み下さい。

【FAX】097-506-1753

大分県新産業振興室医療機器・エネルギー産業振興班 平山あて
ホームページによる申込みにご協力ください。

<https://www.egov-oita.pref.oita.jp/lnQcQtyt>



QRコードは特許データベースの登録商標です。

企業・団体名				
所在地		〒		
申込担当者	所属・役職		氏名	
	電話		FAX	
	E-mail			
参加者	所属・役職		氏名	
	1			
	2			
	3			

お問合せ・申込み先

※申込みに関する情報は、介護・福祉関連機器開発部会の管理運営目的以外では使用いたしません。

大分県医療ロボット・機器産業協議会事務局

(大分県商工観光労働部新産業振興室) 担当：平山

TEL 097-506-3269(直通) FAX 097-506-1753 e-mail jimukyoku@medical-valley.jp